

## 平成26年度まちづくり集会

## 市長講話「私が考えるあらたなまちづくり」(概要)

まちづくり集会に、お集まりいただきありがとうございます。

本日、参加された方の名簿を拝見しますと、皆さん、普段から地域の各団体でリーダーシップをとって、まちづくりに貢献していただいている方ばかりです。

ほとんどの方がボランティアということですが、市長として、改めて皆さんの活動にお礼を申し上げます。

このまちづくり集会は、市内を17地区に分けて開催して参ります。

早いもので、いよいよ今年で1市4町が合併して10年になります。

その中で、現在、市では、多くの皆さんに参加してもらいながら、次の10年に向けた総合計画をつくっています。

次の10年をどうしていくか、ということになりますが、総合計画の中には個々の地区でどういったまちづくりをする、という具体的なことはあまり書かれていません。おおまかに書いてあります。

私は、まちづくり協議会が、個々の地区のまちづくりの目標を立てて、当然、市も協力をしますが、皆さんが、自分たちのまちをどのようにしたいのか、自分たちのこととして日頃から考えていることを、もっと細かくやっていただきたいと考えています。

私は平成21年に市長に就任しましたが、その時の政治スローガンは、「市民起点」と「地域内分権」であり、今でも続いています。

「市民起点」というのは、当然の事ですが、市民が主人公であり、“市民”が大切ということです。市役所が行うまちづくりは二番目で、市民自らが自分たちのことをする、市民が主人公という考え方です。

それをお手伝いするために市役所がある訳です。市役所の職員は、市民の皆さんにサービスを提供するためにいる訳です。市役所が何でもかんでも決めて、やった方がよいという訳にはいきません。

それと、「地域内分権」。下関市は合併して大変広くなり、720平方キロメートル、東京23区の1.2倍もあります。

私は、下関市長として全国を回ってお話をする機会も多いのですが、「下関市はどんなまちですか？」と聞かれても、地区ごとに特色があり、一言では言い表せません。あえて言うのであれば、「海峡のまちしものせき」です。



関門海峡があって下関の歴史が生まれ、発展してきました。これに歴史や景観、文化、食、産業などが集約され、現在に続いています。

関門海峡、山陽線、山陰線の海岸もある、工業、商業、漁業、農業、緑、それぞれの地区に特色があるので、地区ごとのまちづくり、地域内分権をそれぞれ分けて行う。それが今回の取組になります。

こんなに広い下関を、唐戸の市役所だけ詳しくて、そこから号令を出して、皆さんついて来なさいというのでは、まちはまとまらないと思います。

今、我々がやっている取組は、合併に逆行する、地域ごとに頑張っ、となれば合併しなくても良かったのでは、と言われる方もいます。

しかし、それとこれとは全く違います。

合併は財政を一本にして大きなまちづくりをする。これが、合併の根本であり、職員も合併時から700人減っていて、すごいコストダウンです。

それをやる一方で、地域が疲弊してはいけません。その元気を出すのを皆さんと一緒にやりましょう、というのが地域内分権です。

合併して、総合支所には総合支所長もいましたが、次長クラスで権限は何も無く、権限を持たない4町の総合支所長は、合併後最初4年間、細かな事でも唐戸の市役所に聞かないと決まりませんし、お金もありませんでした。

私が就任して以降、総合支所長には、日頃から町長のような気持ちで、しっかりと市民サービスをしてもらうため、市長の権限を少し渡そうと思い、決裁権、契約締結権、文書の印鑑を押すなど、かなり移譲しました。

まずは、これを最初にやりました。行政内の地域内分権といいますが、今は形が出来てきました。

次は、住民の皆さんから、役所の中はそれが良いかもしれないが、地元はどうなるかと、そっちの方が大事だろうと言われました。それは当然です。

旧市内の方からは、なぜ、4町ばかりそういうことをするのかと、対等であれば、同じように旧市内の意見を聞いてそういうサービスの分散などをするべきだ、という意見が出てきました。

それから、「住民自治によるまちづくり」の言葉は難しいです。どのようなものかという、早い話が、民主主義の拡大です。

皆さんから、直接、色々な意見をいただき、市政に活かしていこうと、住民の意思によるまちづくり、これは当然の事ですが、これまで、あまりそうやってはいませんでした。

その象徴が、よく言われる、お任せ民主主義です。議員を選んだから、市議会議員に任せていたら大丈夫。あとは、余程のことが無い限り、あまり市政に関心を持たない。投票率も低く、選挙にも行っていないと思います。これが、おまかせ民主主義です。

余程のことが起きるとクレームを言うが、日頃は無関心。これではいけませんね。個人個人が全部そうなると、まちがバラバラになります。

一方、皆さんから直接、地域の話を知ろうということ、これが、今回の地域

内分権になります。

各地区で「まちづくり協議会」を作ってもらうようになります。

今、自治会もあるし、それぞれの団体で活動しているのに、なぜ、協議会を作る必要があるのか。団体の上に屋根を作ることになるのではないのか、と言われることもあります。

そうではなくて、皆さんがそれぞれ集まって、グループが横断的に、スポーツもあれば、自治会、民生委員、ボランティアなど色々ありますが、縦の組織を横に束ねて、もっと地域のことを細かく一緒に情報共有しましょう、ネットワークをつくりましょう、皆さんの合意で地域のことを決めていきましょう、ということなのです。

市が進めるこの取組は、これからかなり本格的にやっていきます。

市の職員を配置し、お金も準備をしようと思っています。議会前なので金額は言えませんが、この組織が強くなれば、それなりのお金も、市職員もしっかり研修をして、皆さんのお手伝いをするようになります。

主体は地域の皆さんになります。市は裏方に回ってサポート役となり、色々なことをするための予算もつくようになります。

今ある予算を引き上げて、まとめて、違う活動をやってください、というものではありません。今までのものは今までどおりです。それプラス、新しいまちづくりのための予算を作っていくようになります。そのための条例を9月議会に提案します。

それから、お手元の推進計画（素案）は、12月までにはまとめ、今後の進め方を決めていくようになります。

大切なのは、皆さんと市の意識とが一緒になって、まちづくりをしましょう、このまちをより良くしましょう、ということです。

ただ、皆さんは、ボランティアで経験を重ねておられるが、こういったまちづくりの知識、どういう問題があるのかなど色々あるので、今、市立大学で講座を開設しています。未来大学といいます。これをもっと充実させていきますので、是非、皆さんも講座を受講されて、まちづくりの知識を磨いていただきたいと思います。この地区でやることにも色々役立つと思います。

また、公共マネジメント学科という学科があり、これを地域に活かしたいと考えています。

今日お集まりの皆さんは、いつも拝見するお顔であり、大変まとまりが良いので、先進的なまちづくり組織に是非なっただきたいと思っています。

平成27年度に準備を行い、平成28年度から市内17地区全てで始めていただきたいと思っています。それまでに、市はしっかり体制を整えて準備をしていきたいと思っています。

今、皆さんがされている活動は是非そのまま続けてもらいたいと思っています。それプラス、これからの問題は少子高齢化。子どもが少なくなっ、て、学校の統廃合の問題。色々な犯罪もあるので、子どもは外に出て遊ばない。地区に

よっては、伸び伸びと生活し、学習環境も恵まれている地区もあると思うが、街中の子どもは外では遊ばず、ゲームをしたりしています。特にスマホでそういう犯罪に巻き込まれることに大変危惧しています。

高齢者の場合は、医療、介護、福祉、このネットワークがとても大切になってきます。これからも一人暮らし高齢者が増えていきます。誰もが健康という訳でもありません。寿命は延びたが、認知症になる方も沢山いらっしゃいます。一人暮らし高齢者、老老介護、認々介護、徘徊など大変なことが起きてきます。

その時に、地域のネットワークがしっかりしていれば、早めに対応もできるし、やはり、老後は安心して生活できる、住み慣れたまちで生活できる、これがとても大切なことなので、そういったことへの対応も増えてきます。

このまちのことは、皆さんが一番詳しいので、皆さんの意見をしっかりと聞きながらまとめていくようになります。

どこに力を入れようか、ここにお金が必要か。そういったことを皆さんの合意の基に行うようになります。是非、期待をしていただければと思います。

皆さんが、自分たちのまちでやったことが、皆さんの絆を強め、達成感、やりがい、生きがいが生まれてくる。そういう仕組みづくりにしていきたいと思っています。

これを勘違いして、市長は良いことばかり言っているが、そんなに上手くいくのか、そんなに良いことばかりかと、危惧される人も中にはいます。

どういうことかと言うと、段々と市はお金が無くなっていくので、経費削減をするために地域に仕事を押し付けるのではないかと言うのです。これは全く違います。

これが今から5年、10年経ち、仕組みができたときに、無駄な経費があった場合は、二重になったところをスリム化し、職員数も減るが、その中で生きめがいくようなサービスを行っていきます。その結果として、財政を少し縮減できることがあるかもしれません。しかし、それは、ずっと先の話であって、それぞれの地区だけの話ではなく、もっと大きな市全体の話です。

大切なのは、皆さんのようなリーダーです。この度、議会からも「なぜ団体の代表だけを集めて集会をやるのか。」「もっと、多くの住民を集めてやってはどうか。」と言われましたが、実際にやるのは難しい。

それに、まちづくりに興味を持っている人であれば、日頃から一緒にグループで活動していると思うので、経験も無く、いきなり、私がやりますというのは難しいと思います。

まずは、これまで活動してきた皆さんに集まっただき、これまで、グループや組織をまとめてきておられますので、その方達の知恵をお借りしたいと思っています。次のステップとして、新たな人達が仲間に加わり、色々なディスカッションをしながら参加していくことになると思います。

まずは、ここにお集まりの皆さんに、まちづくり協議会の立上げに向けてご尽力いただきたいと思います。

国の方針としては、女性の社会進出を大体3割以上としたいということですが、私は4割以上にしてほしいと思っています。

女性が社会の半分を支えていますし、女性が元気なまちは、そのまちも元気になるので、是非、お願いします。

最後に、こういう地区が17地区できて、それぞれ切磋琢磨していただきたいと思います。これは、みんなが同じではありません。歴史、文化など全部違うので、それぞれの地区が特色を活かすことで、下関全体が元気になるような仕組みと考えています。

これは、全国的にも、まだ珍しい取組であって、どこかの市と同じことをやっている訳ではありません。手探りの状態です。ただ、皆さんと一緒に作っていくことにやりがいがあるのです。素晴らしいことだと思っています。

今日は、「あらたなまちづくり」への取組の記念日だと思います。こういうことを再々やっていき、まちを元気にしていきたいと思います。

新しい取組で分からないところもあると思いますが、市もしっかり体制を整えてサポートしていきます。地区が元気になることが下関の元気に繋がります。本日は、どうぞよろしくお願いします。

以上